

スズメノエンドウ (雀野豌豆)

名前の意味：スズメが食べる野生のエンドウの意味。スズメは、似ているけれども小さいものや、小さいから人の代わりにスズメが使うという意味で、スズメ〇〇〇と名付けることがある。

分類：双子葉類、マメ科、クサフジ属

(マメ科の栽培植物：エンドウ、アズキ、ソラマメ、ダイズ、ラッカセイ)

好きな場所：日当たりのよい道ばた

分布：本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた (自生)

特徴：つるのある細かく分かれた葉、小さな藤色の花、さやえんどうに似た毛のある実

種子の運ばれかた：果実が種子をはじき飛ばす

花弁の数：離弁、5枚

花の時期：4—5月

食べ方：若い芽は塩ゆでするとおひたしで食べられる

見分け方：カラスノエンドウとは花が小さいこと、花の色が藤色であること、さやが小さく毛があることで区別できる。

見つけやすさ ★★★

見分けやすさ ★★

総合難易度 ★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)